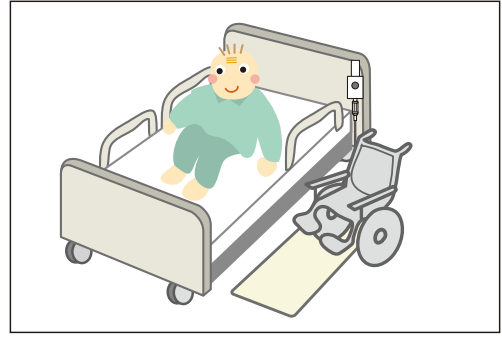


今月のテーマ 離床センサー(コールマット)の KYT

KYT(危険・予知・トレーニング)は、スタッフの危険予知、対応能力を高める目的で取り入れられる手法です。それぞれのシーンでどんな危険があり(予測)、どんな対策が必要かぜひ考えてみてください。

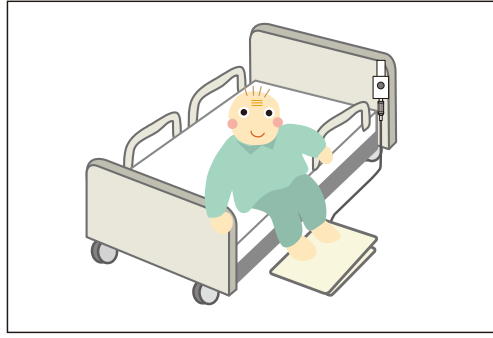
case 1 患者は車いすを使用中です。どんな危険がありますか？



センサーを踏んでもナースコールが鳴らない。また、車いすがセンサーの上にあると故障に繋がる。

対策
ベッド下にセンサーを一時的に収納する

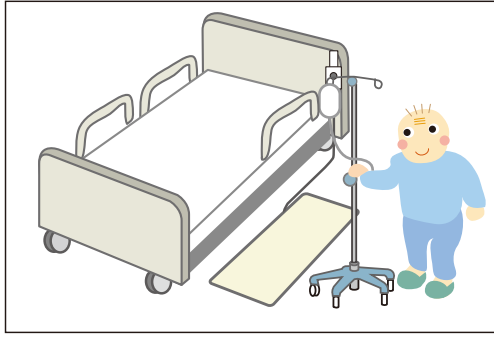
case 2 マットを折り畳み使用中です。どんな危険がありますか？



患者がセンサーにつまづき、転倒する恐れがある。また、センサーの故障に繋がる。

対策
センサーは必ず広げて設置する

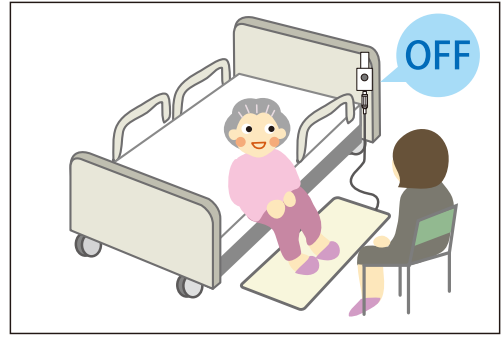
case 3 点滴が必要な患者です。どんな危険がありますか？



点滴台がセンサーの上にあると正常動作しない可能性がある。センサーの故障に繋がる。

対策
赤外線センサーへの切替を検討する

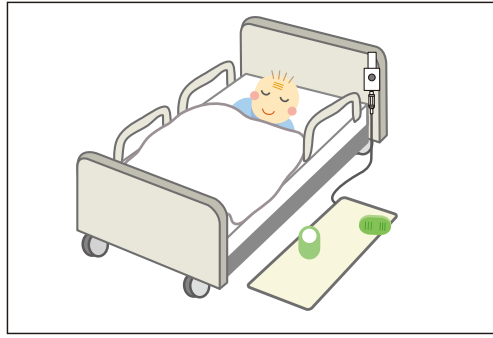
case 4 家族が来られたので一時的に離床センサーを切りました。どんな危険がありますか？



家族が帰られたあと、センサーがOFFのままだと、患者がセンサーを踏んだ時にナースコールが鳴らない。

対策
センサー OFF の内容をスタッフ間で共有するコードレスセンサーの一時停止機能を使用する。

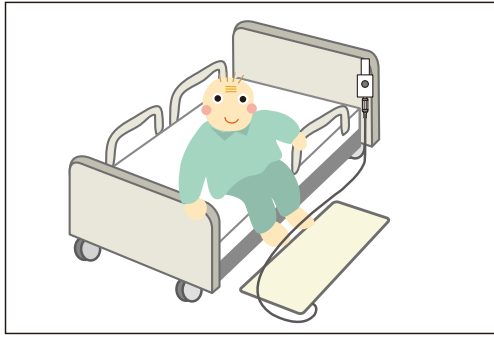
case 5 患者がおやすみ中です。どんな危険がありますか？



センサーの上にある履物が散らばり、立ち上がり時にバランスを崩し転倒する恐れがある。

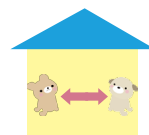
対策
靴はセンサーの上の履きやすい位置に揃える。

case 6 離床センサーを設置しました。どんな危険がありますか？



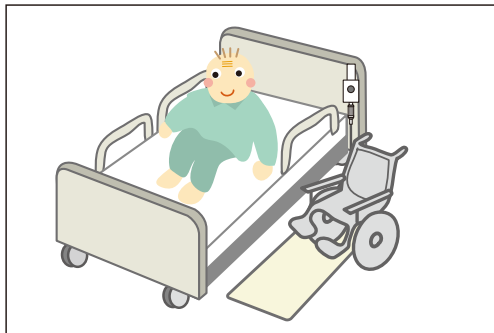
患者がケーブルにつまづき、転倒の恐れがある。

対策
ケーブル配線を見直す。コードレスセンサーへ切替を検討する。

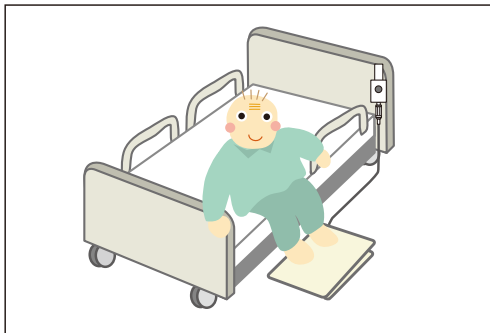


〈 離床センサー(コールマット)の KYT 〉

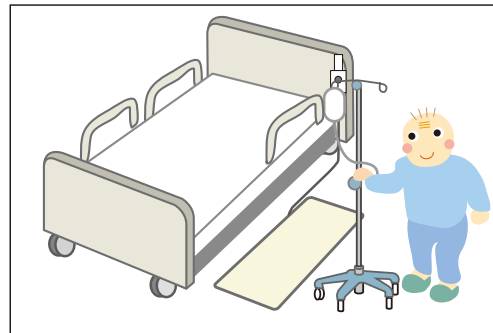
case 1 患者は車いすを使用中です。
どんな危険がありますか？



case 2 マットを折り畳み使用中です。
どんな危険がありますか？



case 3 点滴が必要な患者です。
どんな危険がありますか？

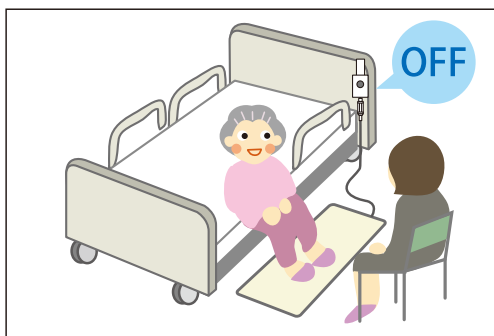


対策

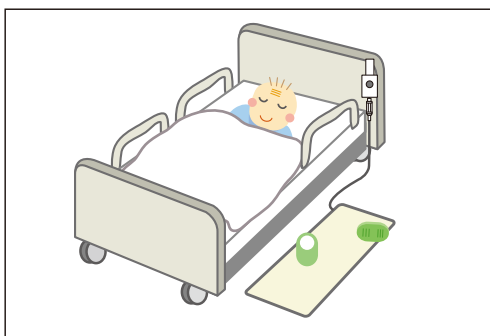
対策

対策

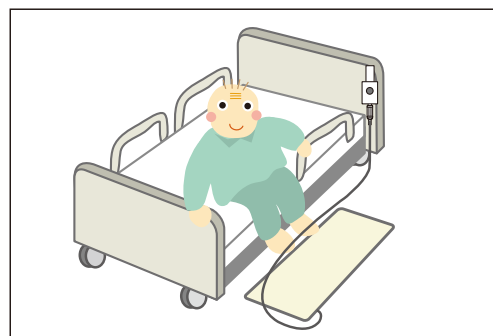
case 4 家族が来られたので一時的に
離床センサーを切りました。
どんな危険がありますか？



case 5 患者がおやすみ中です。
どんな危険がありますか？



case 6 離床センサーを設置しました。
どんな危険がありますか？



対策

対策

対策